

日伯新聞

Caixa No. 375 Phone. 2-3926

低賃請願運動

如何なる運動も今では輿論の背景なくしては成功しない。輿論に支持されてこそそれが運動であり計謀である。之れなくして彼此してのみ決してモノにはならない。例へば一時的個人因縁をたどり、政府當局者をだましてモノにしてみても、そんなことが二度と成立するものでなく永続するものではない。

謎の南リオ・グランデに

聯邦政府の神経尖る

ポルト・アレグレに

陸海兩軍を集中

リオ・デ・ジャネイロの南に、ポルト・アレグレに、陸海兩軍を集中して、謎の南リオ・グランデに、聯邦政府の神経が尖る。ポルト・アレグレに、陸海兩軍を集中して、謎の南リオ・グランデに、聯邦政府の神経が尖る。

オレガリオ・マシエル氏

ミナス州統領に就任

南大河州との関係密に

相共に提携

かねて報せられていたオレガリオ・マシエル氏が、ミナス州統領に就任し、南大河州との関係密に相共に提携する。

高岡専太郎 午後三時より 診療時間

経済略史

第十八世紀の産業 一 穀物 (一) 穀物は、十八世紀の主要な産業であり、輸出の中心となっていた。

聯邦兵引上げ

ペロ・オリゾンテ

アリオ・ベソ

州名改定

去月二十日、聯邦兵が引上げられ、ペロ・オリゾンテ、アリオ・ベソ、州名改定が行われた。

オレガリオ・マシエル氏の就任後、南大河州との関係が密に提携される見込みである。

ミナス州の経済は、穀物と鉱業に依存しており、輸出の中心となっている。

第十八世紀末から十九世紀初頭にかけて、南米の経済は大きく変化した。穀物と鉱業が主要な産業となり、輸出の中心となった。

南米の経済は、穀物と鉱業に依存しており、輸出の中心となっている。この時期には、南米の経済は大きく変化した。

南米の経済は、穀物と鉱業に依存しており、輸出の中心となっている。この時期には、南米の経済は大きく変化した。

南米の経済は、穀物と鉱業に依存しており、輸出の中心となっている。この時期には、南米の経済は大きく変化した。

南米の経済は、穀物と鉱業に依存しており、輸出の中心となっている。この時期には、南米の経済は大きく変化した。

CASA TOZAN MIZUKAMI & CIA. COMMISSARIOS Rua Cidade de Toledo N. 25 Caixa, 911 - Phone, 2837 End. Telegr. "TOZAN" SANTOS

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD. (THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.) RUA DA CANDELARIA NO. 25 CAIXA POSTAL 880-RIO DE JANEIRO

Hotel Carlton ESPECIMANTE PARA FAMILIAS Rua Lidero Babaró, 26 Tel. 2-2956 S. Paulo

F. S. Hampshire & Companhia Ltd. S. PAULO: RUA ALVARES PENTRADE, 21 SOB. SANTOS: RUA 15 DE NOVEMBRO, 147 SOB.

州民の反感を買ふて

アルヴアロ州統領辭職

後継者は上院議長

パラグアイ州統領アルヴアロ氏が十日、辭職を州議院に提出し、州議院は直ちに之を承認した。州統領職に就いた後、州議院は直ちに之を承認した。州議院は直ちに之を承認した。州議院は直ちに之を承認した。

獨立記念日に

盛大な閱兵式舉行

政府の兵力量充實を示す

各地へ示威電報
七日はブラジル獨立第八回、アルヴアロ州に於ても同日に相繼ぎて盛大な閱兵式を舉行した。各地へ示威電報が送られた。

一九二九年度に於ける

ミナスの經濟狀態

農産物は減收だが 注目される畜産物

去月四日州議會に與へられた州の一九二九年度の經濟狀態は、農産物は減收だが、畜産物は注目される。州議會は、農産物の減收が、畜産物の増加を補うことが出来た。



合計	三、八〇〇、〇〇〇
農産物	一、二〇〇、〇〇〇
畜産物	一、五〇〇、〇〇〇
工業品	一、〇〇〇、〇〇〇
其他	〇、一〇〇、〇〇〇

陣容ミミのへる

ミナス新州政府

前長官は辯護士開業
七日新州統領オレガリオ・マシオン氏に代り、マシオン氏が新州長官に就任した。前長官は辯護士として開業した。

進出振り鮮やかな
ブラジル綿
英國への供給第二位
先達リオ市商業會議所の例會には、十五万九千四百二十二個の第五位、英國への供給第二位とされた。

創立五十五周年を迎へた
聯邦貯蓄銀行聖市支店
本月一日を以て聯邦貯蓄銀行、事業に對する理解が増した。創立五十五周年を迎へた。

關係會社破産續出
國際的の生産制限も
今や全く不可能
イヴニング・ニュース紙の報ずる所によれば、關係會社の破産は、最早國際的の生産制限を行はんとするも全く不可能な状態にある。

轉居
妹尾正男
ブラジル語研究會
Raulino Moura de Paulo
去る七月十三日日本會定期總會開會、幹部改選の結果左の諸氏當選した。

極安白米
モジアナ線
福川爲然
郵函 廿二

CASA LIMA
Rua São Bento, 46 Tel. 2-3944
SAO PAULO

眼鏡 鼻眼鏡 整腸帶
ゴム製 おしめ 製品一式

CLINICA DENTARIA
R. Conde Sarzedas, 9 - Tel. 2-3029
院 醫 科 齒
第一眞上村
九、ス、ド、セ、ル、テ、ド、グ、ラ、コ
番九二〇三二二番電
(ハ、向、街、店、商、大、中)

Casa Uehara
賣販貨雜及品料食
達用辨者國語
店商原上
六十、ブ、ン、テ、ツ、セ、ド、テ、ツ、セ、ド、ル、ラ
四〇八一 話電 市ストンサ

料亭 さくら
ルアセツテ・デ・セツテン・ブロー二八番
サントス

FAZENDA ATOMIYA
CAIXA POSTAL, 169 - CAMBARA

後宮耕地
カムバラ 郵函 一六九

KAIGAI KOGYO KABUSHIKI KAISHA
社會式株業興外海
(一者望希農立獨リヨ内州)

イグアへ植民地
○平坦地で手頃の處女林
○水質良好で豊富
○現住セツテ、ト、ラ、ス、四、百、六、十、家、族
○マ、レ、ト、ク、絶、無、の、健、康、地
○四月以降州内より契約ハ〇地區
○地代一〇アルケール、即金ならば三、〇〇〇
○初回七〇〇軒納入、後金六ヶ年割拂ひ
○希望の方には寫眞入案内書送る
入植希望者には視察轉住其他に充分便宜を計ります。今年開墾地より入植せらるゝ家族に限り家族全員及荷物に對する鐵道無賃輸送を受けるゝ特點があります
無賃輸送は下記へ
照會會は下記へ

新方面提供

定期總會
來る本月十五日午後四時よりパウルクに於て定期總會開催し候間此段御通知申上候
尙今般伯國視察中の當協會主事藤原茂氏にも御出席相成管に有之候間會員諸君には高障御線台奮て御參集相成度希望致し候
場所 パウルク市セントルイス街六ノ三
會員各位
福岡縣海外協會伯國支部

◎店支國伯興海◎
Kaigai Kogyo Kaisha. Caixa, 3015. S. Paulo.
◎雄秀山見野 所張出トーレブノロベリ◎
Hideo Nomiya. Caixa, 290 Rib. Preto.
◎一長野大 所務事地民植◎
Choichi Ohno, Colonia Sete Barras L. Juquiá.

息桂次儀
病氣養養中の處藥石其効無く九月一日午前八時迄に永眠致候間此段生前厚知諸賢へ謹告仕候也
昭和五年九月一日
アラサッパ
父 石井 敬太
養父 金子 文太
弟 全 幸一
弟 石井 政義
弟 矢野 伊作

Dentista BRIGUY
Villa Conceição
齒科醫
伊藤達馬
ビラゴキ
ビラゴキ

Casa Oriental
商貨雜及品料食
館旅御
一清川品
線ナバカロン
番四三 函 郵

子孫の爲めに

美田を買へ!!!

維新の巨頭南州翁は子孫の爲め美田を買わず。然り翁にして通用せらる。浪花節の文句で、國危して忠臣出で家貧にして孝子出づ。然り不肖等は後者を御勧めし度い今や財界の不況は世界的にして我日本移民は僅かに伯國を除いては他に無いのである。然も當聖州内の沃野は既に僅少にして折角の有望も何れに投資せるやに悩む人も多かるうと思ふ。不肖等多年の経験に 現在では變更線鐵道工事の傍ら土地物色の折柄計らずも當バールライゾに於て最好適地を見付け、子孫の爲め美田を買ふ可く御勧めする。當所はアラサツバを離る事六十三キロメートルにして近々郡制を敷かる可く、既に市街地は恐ろしい發展振を示して居る。更に現工事は遅くも八月末迄には完成の豫定で期して將來の發展美田たるを失わず。更に地主共現況に鑑み最も容易なる方法に商談出来居れば此期を失して再び機會は無いのである。

暗夜の一燈迷ふ 勿れ道未だ遠し

位置

ゾイラバルーアバ線更變テスエロノ
ルトーメロキ三十六 離 距 道 鐵
ルトーメロキ六十五 離 距 道 車 馬

主 地

氏兩リデルナル・アミレエチ ノーアリチンカ
しな念懸等何で濟量測定法

法方込拂及價地

迄スーレルミ十五百六りよスーレルミ百三
一ノ分三至乃金半度年初即賦年ケ四は込拂
すこ拂回三を金残み込拂

度 高

後前ルトーメ十五百四拔海
し度れら見に考參を高標道鐵據證りよ論

人理代受引

師技木土認公

次忠永秋 吉秀村野

地在々所務事

内 所 務 事 線 更 變 ゾ イ ラ バ ル ー ア バ
(留 パ ー ツ サ ラ ア) 番 八 〇 二 函 郵

尙又成功の道は生産率の多大なる此の地方に於て初めて得らるゝものにして當方面在住四百家族内外の我同胞は現在三年から四ケ年目に千本に付百俵の收穫率を持つ 土地はアラ市を去る五十キロより初まり他に見る事を得んや

文藝欄

鉄持てる妹へ

草川生

妹よ
今朝は又なんと空が美しいと
は思はないか
老へる珈琲樹の葉面にも初秋の
光がもえ
この赤い珈琲が殊更 つやつや
ふくれて見えるよ
時折葉末をゆるがす微風に 遠
い珈琲園が波のやうに輝く
妹よ
こんな一時でいい、せめて手を
やすめて この風景に見とれて
みないか
あの天空の彼方に ぼつと流れ
ゆく雲を呼びかけてみないか
行路の疲れを感じたとき、あ
もう君の魂は荒野に彷徨して
るのだに
君の桃色の頬は 草ほどの青さ
に化つてゐるのだに
妹よ
せめて今朝のときでいい、木
蔭にたしんであの遠い空に就
て思案してみないか
Sincerely yours
今井白鷗

砂 路

氷河生

ふとわれは見出しぬ
夕暮の砂路歩める吾を
脈脈はうちてあれど
いと弱きはし
疲れし陽光
赤く呼吸づきて
吾が影にまじはり
淡き影細く
吾に先だつ
快きよにほひをのせて
薄ゆる夕風は
吾が胸に寂しさを掠め
丘の彼方へ去りつ
音はまたぞ
珈琲樹は紅に光り
土は紫に輝く
只一人
空虚なる心を持ちて
夕暮の砂路を歩む

乙 女

香一郎

秋も暮れば
心のみのり
清き空に
露をまき
處女の胸の
血潮は踊る
待つ人なれど
人戀しさに
たしずむ軒に
星が降る
Sincerely yours
美

秋の夜

白鳥

秋の夜は淋し
君想ふ身と
なりて一しほ
名もなき虫の
鳴く聲は
うもあけかねた
戀に泣く
やるせなき身を
情つてか
秋の夜は憐まし
君想ふ身と
なりて一しほ
Sincerely yours
美

死

美

フト死を想ふ
だが
やつぱり恐しい

帽子

美人

断末魔の苦しみは
今まで生きて来た間に
味はつた苦しみも
綜合したそれよりも
もつと大きく
激しい様な気がして
死んで了つてからも
今度こそ永久に逃れられぬ
重い苦しみか
待つてゐる様な気がして

巴里

美人

伏で格好なものでないでせう
か。大體の傾向としてみますと
線が次第に襟首にかけて垂れ下
つてゆき、それにつれて帽子の
裝飾品が後へ後へと来るために
自然上の襟などもこの傾向に應
じて低めになつて来てゐます。
そこで背後にリボンの結び目
をつけてそれを生かすことによ
つて獨創味を見せる事が出来る
のでこの點に最も苦心がこら
れて居ります。又サイアが長く
なつて来た結果、くまびしきで
その下つてゐるやうな衣服を着
てた丸いだけの帽子を被つて
ゐるのでは餘り映えたスタイル
ではありせん。そこで又羽根
飾りのやうなものが現はれ初
めて、華麗な十八世紀風が、
之にモダン調と合致した味
が出て来て、再び帽子に整潔な
裝飾品が被つて用ひられるやう
にもならぬと取沙汰されてゐ
ます。それに又流行線上を歩ん
でゐる婦人達は時と場所とに
依つて帽子の型ばかりでなく生
地も出来るだけ異つたものを用
ひやうとしまつてゐるので、ど
んな織物地も帽子に用ひられ、
出るやうな生地で作つたもの程
歓迎されるといふ結果を見る
事になるでせう。結局、
ものやうで、而もその間
日に月に新らしさを加へながら
歩きとしたやうなスタイルが

DR. K. DAIAN
MEDICO
Araçatuba
八喜庵大
(興店南原大)パイツアラ

CASA KOGA
Armazem de Seccos, Molhados.
COMPRA - SE ORKEAES.
Guarape (Antiga Flutal)
CAIXA, 214 ARAÇATUBA, N. O. B.
業送運 買仲物産農 賣取貨雜
店商賀古
次 菊 賀 古
四一 函 郵 パーツサラア

Drs. Victoriano Barros
e **K. KUWAJIMA**
MEDICO
德廣島桑
ルータルフ線西北
六 パーツサラア 函郵

MINORU FUZITA
Compra e Venda de Café e cereaes
Casa Tozan, Commissario de Café em Santos
Representante em Araçatuba, N. O. B.
Caixa, 67-A - Araçatuba - Noroeste - Tel, 66

**珈琲及び
雜穀仲買**
カーザ東山
代理人
藤田實
珈琲精選場
ビリグキ ヴキラニ
ツボランジヤ
(舊ウツラ・コンセイソン)
事務所並二倉庫
アラサツバ市
アグアツベイ街八二一
電話 六六七A
郵函 六六番

内外雜貨並雜穀仲買
峯松商店
ノロエステ鐵道變更線
アルト・ビメンタ町
菓子製造卸小賣
御祝儀及佛事の菓子も
調製致します
福嶋菓子店
アラサツバ
(石井ホテル隣)

洋服の御注文は是非當店へ
迅丁親
速寧切
園部洋服店
園 部 實 一
ノロエステ鐵道變更線
アルト・ビメンタ町 郵函二九

MACHINA CENTRAL
de beneficiar café e arroz, e moinho de fubá
Dr. André Fachardo Junqueira. -- Iwao Yassuda
R. Marechal Deodoro 502. -- Caixa. 20-A. -- ARAÇATUBA, N. O. B.

**珈琲穀類仲買
及依託販賣**
カフエー及米の依託販賣に
は前貸しの御相談に應じま
す。珈琲を精選される方に
は運賃も立替えます。空
袋も提供致します。

**セントラル
精米所**
ドットル
ドントレファツシヤル
ド・チュンケイラ
安 田 巖
マレシヤルデオドロ街
五〇二(アグアベイ街邊)
アラサツバ
郵函二〇一A

開業御披露
今度當地に於て私共が寫眞撮影場を開くになりました。
晝夜を問はずに御もとのに應じます。
多年母國映畫界に撮影技師として活動いたした経験上、皆
様の御氣に召す様とらせて頂きます。
其の他現像、焼付、引伸し、等、迅速にいたします。
是非一度御試寫を願ひます。
アラサツバ、郵函六(實齒科醫院向)
フォート・モデルノ
内 海 貞 夫
平 井 亨 之 助

奉答文提示要求に絡み

條約審議の前途尙曲折

樞府の雲行き険悪にて 政府の樂觀を許さず

ロンドン軍縮條約は七月二十四日樞密院に御諮詢を仰いで、八月十日に至るも尙委員の指名す

用案に要する費用は井上蔵相が有する人々はロンドン條約を以て國防上欠陥ありとなし、これを立論するたが過般の軍事參謀

漸次に強硬論優劣となり精査委員は必ず波らんがあるからと

この結果を餘なくされたのは政府が奉答文提示を拒絶せる爲と

が逆的に非難せらるるに至り、感情を害したからであるが、

漸次に強硬論優劣となり精査委員は必ず波らんがあるからと

漸次に強硬論優劣となり精査委員は必ず波らんがあるからと

漸次に強硬論優劣となり精査委員は必ず波らんがあるからと

漸次に強硬論優劣となり精査委員は必ず波らんがあるからと

漸次に強硬論優劣となり精査委員は必ず波らんがあるからと

漸次に強硬論優劣となり精査委員は必ず波らんがあるからと

漸次に強硬論優劣となり精査委員は必ず波らんがあるからと

漸次に強硬論優劣となり精査委員は必ず波らんがあるからと

漸次に強硬論優劣となり精査委員は必ず波らんがあるからと

飛行機を生捕る法

珍戦術の發明成る

大砲兵工廠の美山技師は同僚中の飛行機のプロペラが小石

なりの物に當ると破損する事から飛行機の製作に注意を要する

飛行機の製作に注意を要する事から飛行機の製作に注意を要する

賭博犯罪

激増した

犯罪に現今の世相が深刻に反映した現象として最近賭博事件

労働統計の調査

工場、鑛山業主、労働者

十月十日現在で

労働者については出生地、配偶者の有無、教育程度、就業

五歳の時に支那へ

奇怪な誘拐物語

今十四才の正吉少年

小田原市南町三丁目と横濱市井

東南西北

東久通宮殿下は第五師團

東京市のカード階級

没落の道をたどる商工業者

救済世帯日に激増

収入標準を下げる

質屋から見た

賭博犯罪

棉作者の聲

應募 原稿

棉作小言 C セザル 花野雲平 大正十五年度の全般的凶作と相...

泣き附くか

口説くか 業 峰 生

低利資金請願がどの詰りの何...

注意を感いたり、両方ゴツチャ...

然るに同胞棉作者の現況は果し...

低利資金請願がどの詰りの何...

注意を感いたり、両方ゴツチャ...

A PREDILECTA. E SUAS FILIAES Matriz - RUA 15 DE NOVEMBRO, 51-A

Armour Armour of Brasil Corporation FRIGORIFICO - S. PAULO

肥料界の覇者アルモール アルモール印肥料

Officina de Jolas Casa de Confiança Arrigo Andreani

PAVILHÃO DAS CREANCAS RUA DIREITA 2-B

奥様方 貴客を遊ばすは是非

Rodrigues, Soares & Cia. (Importadores) Rua Mauá, 277. Caixa 1816

農具其他金物一切 陶磁器、チンタ、油

Casas Gonçalves e Luso Brasileira Gabriel Gonçalves & Cia.

各種ポンランリゾガ

DUARTE & SALERNO RUA S. BENTO, 19

寫真機 並に附屬品、材料一切は

悲惨なるアマゾン地獄 作物の収穫殆んど無く 死を待つ農業労働者

解剖された南拓の現状

あらゆる苦痛を味わつて、雄志に燃える幾
十の同胞の心をわきたよ、老ひも若きも自らを
船上に置いて何の自覚もなく走らんとするアマ
その尖端を行く南拓会社！ 然し現実は餘りにも悲惨
口同音に叫ぶ「アマゾン地獄」の真意は奈
邊にあるか。労働者の見たアマゾン、幾年の
を経て論じるアマゾン。世の視察者が船窓から眺める密
林は偉大なものであらふとも、その奥に秘められたる哀
愁を等閑に附す事は出来ぬ。

何故の生存か

公積資本一千万圓内拂込済二
百五十万圓の南拓殖産会社が北
米のオールドと相前後して北
に進出し、同胞農業者を入植せ
しめてから既に三年の月日が経
過してゐる。その間会社は如何
なる事業をし、労働者はどれだ
けの収穫を得て來てゐるか。

廣大な事務所

本部をベレンに置き、そこから
アカラ河を遡る一晝夜の航行で
達するトマスに種々な設備
が完了されてゐる。無線電信も設
置してあれば、三隻所有し
てゐる。移民收容所も病院も立
派に出来てゐるし、おまへを素
派らしい事務所には堂々七十名
の社員が机を並べて控えてゐる。
採算外の一軒六〇〇コトスを
費した道も完成して、これが
植民地かと思ふものを驚かせる
福原八郎氏を主宰として、表面
から見た南拓は堂々たるもので
あり、日本の事業会社としては
決して恥かしからぬものである。

無秩序無統率

然るにその内情は如何、旅行勝
ちの福原氏が不在の時に於ては
誰一人統率者無く、各人各説で
何れも自己の意見を固執して終
つて、甲論乙駁の騒々しさに終
始してゐる。過般藤原、中田の
両氏が視察の折、労働時間の問
題から使用中のカメラに社
員が殺された目に遭つたなど
は遺憾なくこの無秩序振りを發
揮したものである。斯くの如き
状態下にあつて就働中の農業者
が何で幸福を得られやうか。

農作物一般

カカオ...肥料を施しては
り、七八年を経なければならぬ
カカオ...肥料を施しては
り、七八年を経なければならぬ
カカオ...肥料を施しては
り、七八年を経なければならぬ

何處へ行くか

何處へ行くか
何處へ行くか
何處へ行くか

農産物展覧會

市内アグア・フランカの常設陳
列館に於て七日より十四日まで
新聞一つ讀む事も叶はず、懐か
しい母國からの音づれも聞けな
れた後に受取る事が展覧會であ
るといふ。一町歩五百ミルで買
つた入植者も、板屋に「コント
五百ミルを拂つた労働者も、珈
琲が一町五ミル六百、砂糖一町
三ミル五百の高級物に換はさ
れながら、生きるがためにには
上の負債も餘儀なくされてゐ
る。開拓の犠牲としては餘りに
多過ぎない事実はないか。其
「千古不変の大森林はミシシ
ッピにも楊子江にもある。殊
は充分にある。

ブラジル拓植組合

移住地巡視動靜
「チエテ」特信「去る二日午後八
時移住地巡視の途に上つたブラ
ジル拓植組合主事水島氏一行
（全行若手、松本、松岡の三氏）
は三日午前六時半着小憩の後
七時半前同氏一行は第二アリア
ンサ事務所を訪ひ時局を
談し花を咲かせ正午退去、午後
二時發にて「ホルス」に向ひ全
市セントラル・ホテル宿泊の上
四日セントラルの視察のため滞
在し珈琲地としての施設上完
備されて居るとの定評あるスイ
サ耕地に自動車を驅つて土火
力乾燥場、珈琲及白米精造工場
製材工場、各倉庫、入耕農夫住
宅、藥局、雜貨店等重なる建築
物の内容等詳細に視察を遂げた
のち、午後三時同氏一行は
ついで見聞し午後四時同氏一行
着後、青年會館に保存されてあ
る農産品を視察し五時半同氏一
農産品を視察し五時半同氏一
農産品を視察し五時半同氏一

小林日種氏の講演

小林日種氏の講演
小林日種氏の講演
小林日種氏の講演

相場市況

相場市況
相場市況
相場市況

神奈川丸は十三日出帆

神奈川丸は十三日出帆
神奈川丸は十三日出帆
神奈川丸は十三日出帆

尋人

尋人
尋人
尋人

米	上等	四二〇〇〇
米	中	三九〇〇〇
米	下	三六〇〇〇
糖	一等	四二〇〇〇
糖	二等	三九〇〇〇
糖	三等	三六〇〇〇
糖	四等	三三〇〇〇
糖	五等	三〇〇〇〇
糖	六等	二七〇〇〇
糖	七等	二四〇〇〇
糖	八等	二一〇〇〇
糖	九等	一八〇〇〇
糖	十等	一五〇〇〇
糖	十一等	一二〇〇〇
糖	十二等	九〇〇〇
糖	十三等	六〇〇〇
糖	十四等	三〇〇〇
糖	十五等	〇

CASA TOZAN

Commissaria de Café em Santos
Representante na Sorocabana
KIMURA KOTARO
Alvares Machado L. Sorocabana

木村孝太郎

ソロカバナ線代理人

譲分の地想理向ラカヤシ

永久地御撰定には是非一度
御視察を御奨め致します

S.A. CO. DE PRODUTOS AGRICOLAS
Rua do Comercio, 2
Pinheiros - Butantan - Sao Paulo

尋人

千葉縣人 野村 昇
明治廿五年六月十五日生
山口縣人 岡村 由見
明治卅四年十月十五日生
右兩名の現住所知りたき付
本人又は御存知の方は至急御
一報相煩し
昭和五年九月
在サンパウロ

日本總領事館

桐田儀介
Eg. TAPAS L.S.P.R.

大出賣

九月十五日より十月三日まで

スリ市カザメルヤリヤ商會

粗景呈上

時節柄顧客各位

大出賣安出仕候

廣告

來る九月廿五、六、七日、三日間
本會主催にて當町日本人會館に
於て農事講習會並に農産物品評
會開催可致候

講師は拓務省勸業部技師及州農
務技師數名出席致さるる筈に付
右廣告仕候

ソロカバナ線
アルパレス・マシヤド驛
ア・マシヤド
日本人會

NIPPAK SHIMBUN

Propriedade e direcção de:
SACK MIURA
Redactor da pagina brasileira José Solé

Redacção, Administração e Officinas
Rua da Liberdade, 146
Caixa Postal, 375
Telephone, 2-3926
Endereço Telephonico "NIPPAK"
SÃO PAULO — BRASIL

ASSIGNATURAS
Para o Brasil:
Por anno 30\$000
Por semestre 16\$000
Numero avulso \$500
Para o Exterior:
Por anno 60\$000

ANUNCIOS
Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para anuncios nesta folha. Telephone 2-3926

EDIÇÃO DE 8 PAGINAS

Noticias e telegrammas do Japão

(Serviço especial do NIPPAK SHIMBUN)

Numero de Escolas Secundarias no Japão

O Ministerio da Instrução Publica informa, em seu ultimo relatório, que, em fim de Julho p.p. existiam no Japão 555 escolas secundarias, e que, em igual periodo de 1922 existiam 384. As escolas secundarias femininas que eram em numero de 523, são, actualmente, 768. Em igual periodo as escolas profissionais femininas que eram 155, augmentou para 204.

Pelo grande crescimento das casas escolares bem se pode aquilatar o gráo elevado em que se acha a instrução publica no Japão.

Os Estados Unidos pretende assig-nar um tratado com o Japão

O perigo de uma guerra, entre os Estados Unidos e outras potencias, ficou consideravelmente reduzido, durante os ultimos dois annos, em virtude da conclusão de 35 novos tratados de arbitragem e conciliação. De todas as grandes potencias, o Japão é a unica que não assignou ni accordo dessa natureza com a União Americana. As negociações nesse sentido, entretanto, progredem e os directores do Departamento do Estado acreditam que serão coroadas com a assignatura de um tratado, accellando o principio da arbitragem, para a solução dos litigios internacionaes das duas nações.

A noticia publicada sobre a troca das ratificações de tratados similares, recentemente concluidos, entre os Estados Unidos e a Hollanda e a Lethonia, chamaram a attenção sobre a situação diplomatica do paiz.

Dos 60 tratados actualmente em vigor, compreendendo velhos e novos, 27 determinam a nomeação de conciliadores para o exame das disputas de qualquer natureza e a apresentação de suggestões satisfactorias visando a solução dos incidentes.

O principe Takamatsu em Roma

Desde o dia 4 do corrente se encontram em visita ao povo italiano o principe Takamatsu, irmão do imperador do Japão, e sua esposa a princeza Kikuko.

Ss. Aa. que são hospedes da familia real italiana, tem sido acolhidas com profundas mostras de sympathias pelo povo, altas autoridades da Italia e pelo primeiro ministro Mussolini.

O principe tem visitado todas as partes onde se encontram reminiscencias da historica Italia antiga, tendo ficado agradavelmente encantado.

Sportistas Americanos no Japão

O team de Base-ball de Chicago no Japão

TOKIO, 7 — O team de Base-ball da Universidade de Chicago estreou, quinta-feira, aqui, jogando contra o team da Universidade de Waseda.

O jogo que foi presenciado por 25.000 pessoas terminou com a victoria dos norte-americanos por 8 x 5.

Lo ças, Artigos Japonezes e Nacionaes

K. NISHITANI

IMPORTADOR E EXPORTADOR

R. Conceição, 88
End. Teleg. NISHITANI
Caixa do Correio, 1134
RIO DE JANEIRO

O Japão e o tratado Naval de Londres

O Conselho Privado Japonês contra o Tratado Naval de Londres

TOKIO, 6 — A ratificação por parte do Japão do Tratado Naval de Londres, parece, ao que dizem os jornaes, estar fadada a não obter a assignatura desejada, por isso que a esse tratado se opõe o Conselho Privado Japonês.

A ser verdadeira a asserção dos referidos jornaes, o Tratado será submettido a uma nova revisão que consulta os interesses do Japão moderno.

NOTAS AGRICOLAS

Ajudando aos pequenos Agricultores

O sr. ministro da Agricultura, tendo em vista o interesse desesperado entre os nossos lavradores pela venda, ao preço de custo das fabricas, de machinismos e utensilios agricolas importados, acaba de fazer uma nova e grande encomenda nos Estados Unidos e na Europa, esperando receber esse material por todo o corrente mez ou em Outubro.

As machinas e utensilios destinados aos lavradores são entregues aos compradores em suas propriedades, correndo todas as despesas, de transportes maritimos e terrestres, direitos, etc., por conta do Ministerio da Agricultura. Para facilitar aos lavradores dos Estados a aquisição desse material, determinou o dr. Lyra Castro a organização de uma exposição em S. Paulo e nas sedes das inspectorias Agricolas de todos os Estados.

A Revolução Chinesa

Japonezes que procuram refugio numa canhoneira

TOKIO, 5 — Foi enviada a toda pressa para Shan-Si, a canhoneira «Atami», para recolher a bordo grande numero de japonezes, americanos e inglezes residentes naquella cidade e que ameaçados pelos comunistas tiveram que fugir.

Os comunistas, em numero de 400, atacaram subitamente as tropas do governo, com as quaes travaram renhido combate. Depois de tres horas de luta, os comunistas debandaram deixando no campo muitos mortos e feridos.

O representante japonês na Sociedade das Nações

Encontra-se em Genebra, onde tomará parte na reunião geral da Sociedade das Nações, o sr. Yoshisawa.

O sr. Yoshisawa que é o embaixador japonês acreditado junto ao governo francez, representará, nessa reunião, o Imperio do Japão.

Brasil e o Japão

Uma grande obra de mutuo entendimento

O Brasil tem deante de si um grave problema que resolver: a integrallsação das raças immigradas no seio do seu povo ainda em formação. A extensão enorme do paiz pode perfeitamente dar lugar ao phenomeno pouco util para nós, de se irem formando, aqui e ali, grandes colonias estrangeiras, cujo desenvolvimento futuro lhes permitirá ares e pretensões de Estados dentro do Estado. Não é de hoje que ouvimos falar no perigo allemão, aliás pura phantasia, em Santa Catharina, e no perigo italiano, phantasia muito maior ainda, em São Paulo. Não é tambem assumpto muito raro esse outro perigo, chamados por muitos, de amarello, referente á immigração japonesa.

Em que se baseiam todos para assim formular as suas hypotheses de taes perigos? Principalmente na diferença de costumes, mas sobretudo, na difficuldade da linguagem. Pois quanto a esse ponto, podemos adeantar hoje varios pormenores que devem interessar ao Brasil e ao Japão: dentro de pouco tempo receberemos immigrants nipponicos perfeitamente ao par da nossa lingua, usos e costumes. Um grupo de pessoas tomou a peito resolver taes problemas, interessando-se por obra de tanto alcance patriótico brasileiros e filhos do Imperio Sol Nascente.

A lingua portugueza ensinada aos japonezes

As ultimas levas immigratorias que temos recebido, já nos apresentaram varios factos que só por si revelam o cuidado dispensado no Japão, aos futuros habitantes do Brasil. Vieram todos sabendo dizer algumas palavras em nossa lingua, como por exemplo, os cumprimentos, conhecendo mais ou menos o hymno brasileiro e a nossa bandeira. Taes factos causaram muito boa impressão, porque as demais correntes immigratorias vinham a S. Paulo certas de que só S. Paulo era o Brasil, quando não pensavam que a nossa capital era Buenos Aires. Taes factos vieram revelar-nos tambem que a immigração nipponica é das mais intelligentes, reflectindo com esses actos a boa direcção que lhe é dada no Japão. Tudo isto, porém, apesar de muito louvavel é digno dos melhores applausos, era ainda muito pouco. Collocados num vasto paiz como este, entendendo da sua linguagem apenas algumas palavras, os emigrados da patria japoneza, breve se sentiam em grandes difficuldades, procurando, para evitá-las, os logares habitados pelos seus compatriotas, onde pudessem falar a lingua materna. Fugiam, assim, dos meios onde poderiam aprender o portuguez, esquecendo immediatamente aquelles termos conhecidos. Foi então que appareceu um homem verdadeiramente patriota e interessado no bem estar dos seus compatriotas: o sr. Toshiichi Ichinose. Tendo vivido muitos annos nas ilhas Hawaii, acompanhou dahi o movimento emigratorio dos seus irmãos para a America, principalmente para o Brasil. Notou logo que jamais se poderia pensar numa perfeita assimilação do elemento nipponico pelo brasileiro enquanto os dois povos não possuíssem identidade de linguagem e de costumes. Permaneceriam sempre extranhos dentro do mesmo paiz. Ora, os filhos do Japão, quando partem para o Brasil, trazem apenas este pensamento; fazerem-se brasileiros. E este é o supremo ideal a que aspiramos: Transformar em compatriotas nossos a todos os estrangeiros aqui aportados.

Como, porém, fazel-o? Antes de tudo, conseguindo que falem o nosso idioma. Mas como ensinar a nossa lingua aos nipponicos? Onde encontrar brasileiros que falem japonês? Onde encontrar japonezes que conheçam perfeitamente o portuguez?

A solução do Glottophon

O problema está resolvido pelo sr. T. Ichinose com o concurso dos professores Massão Nagashima e Silveira Bueno, lente da Escola Normal desta cidade, que juntos gravaram vinte lições de portuguez-japonez em discos "Odeon". E' o que recebeu o nome dado pelo sr. Silveira Bueno, de — Glottophon.

Mas como foram gravados esses discos? Da seguinte forma: depois de acurado estudo e de muitas observações, os dois professores seleccionaram os dialogos, as phrases, as expressões de maior necessidade e emprego diario, bem como as partes da grammatica que possam oferecer maiores difficuldades aos japonezes, gravando tudo isto em vinte faces de disco. A forma procurada satisfaz excellentemente: assim, uma phrase é dita primeiro em portuguez e em seguida, traduzida em japonês. A dicção de ambos os professores é perfeita, não se perdendo a menor letra, o mais leve acento ou entoação, tudo pronunciado vagarosamente. Os dialogos ensinam ao estrangeiro os assumptos mais praticos e indispensaveis: por exemplo: dialogos numa estrada de ferro, na agencia do correio, na fazenda para pedir serviço, para oferecer trabalho, no consultorio medico, o nome das doencas, dos remedios, etc. Dialogos explicativos da nossa Constituição politica, das condições climatéricas do Brasil, dos nossos costumes. As expressões põem o recém-chegado do Japão ao par da linguagem do povo a fim de que elle não seja enganado. O ultimo disco encerra uma oração pela felicidade do Brasil e pelos que nelle vierem a residir.

O commentario do Glottophon Japonês-Brasileiro

O sr. T. Ichinose não se contentou com a gravação dos discos. Publicou numa brochura de quasi cem paginas, todos os dialogos, expressões e ensinamentos da gravação. Desta forma a pessoa que possui a colleção de discos e «O Commentario» pôde perfeitamente aprender as vinte lições, com as quaes lhe é possível chegar ao Brasil, podendo manter rapidas conversas.

Este empreendimento é de grande alcance para a colonia nipponica tão numerosa já e de maior ainda para os centros emigratorios do Japão; temos a esperança de que brevemente receberemos novos contingentes japonezes que não só saberão cumprimentar-nos em nossa lingua, mas poderão conversar conosco.

O exemplo dado vale por um bello incentivo ás outras colonias: se todas imitarem os intelligentes japonezes, nunca mais ouviremos falar em perigo allemão, italiano ou nipponico, porque na vasta extensão do Brasil haverá uma só lingua, um idioma só.

DR. S. TAKAOKA MEDICO — OPERADOR Rua Fagundes, 8 Tel. 7-4663	DR. Y. KIKUCHI MEDICO S. PAULO REGISTRO — IGUAPE
--	--

SPORTS

TENNIS e Bola ao Cesto

Ainda este mez serão realizadas aqui e no Rio duas importantes temporadas internacionaes, ambas promovidas pelo Fluminense.

Tennistas inglezes, que excursionarão tambem pela Argentina, enfrentarão as melhores raquetes do Rio e de S. Paulo, havendo tambem uma partida de simples para senhoras, da qual participará a famosa tennista hespanhola Lili Alvarez, rival eterna da insuperavel Helen Wills.

Tambem uma equipe uruguaya de bola ao cesto enfrentará tres

conjuntos da cidade, sendo um jogo contra o Fluminense, outro com um combinado Fla-Flu e o ultimo contra o combinado carioca.

FUTEBOL

As principais actividades futebolisticas de domingo, tiveram os seguintes resultados:

Corinthians 7 v. São Bento 1
Santos 2 v. Internacional 1
São Paulo 3 v. Athletico 0
Ypiranga 4 v. Germania 3
Juventus 3 v. Guarany 0
Palestra 1 v. Portugueza 1

MISS BRASIL foi aclamada Miss Universo

Dentre as 26 candidatas ao magestoso titulo de «Miss Universo, 1930» sobressai a graça imponente da senhora Yolanda Pereira, «Miss Brasil», a qual dos nove juizes do certamen, só teve dois contra.

Assim é que entre a aclamação ruidosa de cerca de um milhão de pessoas, na linda Guanabara, foi proclamada «Miss Universo», a graciosa e bella entre as mais bellas: Miss Brasil, plastica formosura da terra gaucha.

Salve, rainha das rainhas! Salve, augusta e mystica belleza mundial, que tiveste por berço o scintillante Cruzeiro do Sul! Salve!

Exposição Agricola

Com elevado numero de visitantes teve lugar a abertura da Exposição Agro-Pecuaria, que a Directoria Agricola Brasileira fez montar pelas diversas secções daquelle repartição.

Os enormes e variados mostruarios, explicações e tratados agro-pecuarios receberam a visita de innumerios lavradores e particulares, que accorreram aquella exposição para admirar a grande obra que a Secretaria da Agricultura está levando á cabo neste immenso Brasil.

Estação «Bandeirante-Paraná»

A estação «Bandeirante» da Companhia Ferroviaria S. Paulo-Paraná, passou a denominar-se «Bandeirantes Paraná», a fim de não haver confusão com outra, de igual nome, na São Paulo Railway.

Tratando de simplificar a escripta japoneza

O Japão deseja imitar a Turquia, no que se refere ao seu alfabeto. São numerosos, na adiantada nação asiatica, os partidarios da adopção do alfabeto latino, certos de que essa mudança traria consideravel facilidade no ensino da lingua. A luta entre os que denunciam a vantagem dessa substituição e os que defendem a tradição japoneza dura ha muito tempo. Os partidarios do alfabeto latino são principalmente numerosos em Osaka.

O japonês é, como se sabe, escripto mediante uma combinação de caracteres ideographicos e de syllabas phoneticas.

A leitura do mais simples jornal necessita o conhecimento de tres mil caracteres, o que contraria a diffusão da literatura japoneza. Assim, são especialmente os homens de letras que se ministram adeptos da mudança do alfabeto.

A REVOLUÇÃO NA ARGENTINA

Mais um governo Sul-americano deposto — Resumo dos acontecimentos na capital platina — O motivo da revolução — O novo governo

Detras dos movimentos que depuzeram os governos da Bolivia e do Perú, irrompeu na manhã de 4 do corrente, mais um terceiro para depor o sr. Hipolito Irigoyen, presidente da Republica Argentina.

Os factos, em resumo são os seguintes:

O presidente da Republica passou os seus poderes ao vice-presidente, antes de terminados dois annos de exercicio da presidencia.

O sr. Hipolito Irigoyen que foi, indubitavelmente, a personalidade mais popular do paiz, neste seculo, incompatibilizou-se inteiramente com a opinião publica em virtude de uma série de actos que os seus adversarios não se cansaram de qualificar como contrarios á letra da Constituição. Todas as accusações ao sr. Irigoyen contêm, de um modo expresso, o manifesto que os seus adversarios do Congresso, em numero de 44, assignaram, ha duas semanas, convidando a Nação a reagir contra o regime de absoluta illegalidade, inaugurado pelo presidente. Esse manifesto foi o ponto de partida da intensa agitação que abalou a vida nacional durante cerca de 15 dias e que teve agora o seu epilogo, com a retirada do presidente.

O sr. Hipolito Irigoyen teve um gesto de larga comprehensão das necessidades da Argentina, sendo indubitavel que a posteridade reconhecerá a sua resolução como um dos melhores serviços por elle prestados á collectividade, que o consagrou como um dos seus pró-homens.

O sr. Irigoyen deixou, definitivamente, a presidencia, forçado pelas manifestações populares dos ultimos dias, que eram o prenuncio de um movimento armado.

Ha oito dias, quando se demittiu o general Dellepiane, que a situação se mostrava de extrema gravidade. Os mais optimistas comprehendem que não existia mais nenhuma possibilidade de conciliar a tranquillidade publica do paiz com a permanencia do sr. Irigoyen no governo da Nação.

O apparecimento dos estudantes no scenario, com as manifestações ruidosas dos ultimos dias, as quaes recebiam, nas praças publicas, o apoio da população, apressou a solução do caso.

No dia 5, o general reformado Uriburú á frente de um contingente de 4.000 soldados, e mais de 600 civis armados, entrou na capital dirigindo-se, entre as aclamações do povo em massa, até ao palacio do Governo, onde foram recebidos a tiros pelos

poucos guardas governistas que lá se achavam e que tiveram de abandonar seus postos devido ao numero consideravelmente superior dos insurrectos.

O povo no auge do furor incendiou a residencia do presidente Irigoyen.

As tres horas da tarde já se considerou deposto o governo, tendo o general Uriburú formado o novo gabinete, da seguinte forma:

Presidencia, general Uriburú; vice-presidencia, Henrique Santamarina; Finanças, Henrique Perez; Interior, Mathias Sanchez Sorondo; Instrução, Ernesto Padilha; Agricultura, Horacio Varela; e Obras, Octavio Pico.

O presidente Irigoyen e o vice-presidente Martinez desapareceram, ignorando-se, até agora, o seu paradeiro.

As seis horas da tarde o povo, já em completa calma, passeiava pelas ruas e avenidas cantando e dando vivas aos libertadores.

A ultima hora anuncia-se que o presidente Irigoyen entregou-se á prisão tendo assignado a sua renuncia ao alto cargo que occupava, achando-se gravemente enfermo, pela enorme depressão nervosa que lhe causaram os ultimos acontecimentos.